

Point

2020/12/07 No. 14

JR東労組青年部

(東日本旅客鉄道労働組合青年部)

発行責任者 武田 太希

JR東日本を取り巻く情勢を認識しよう！ ～整理解雇について～

JR東日本は新型コロナウイルスの影響により赤字経営になりました。対策として「休業指示に係わる一部就業規則等の改正について」を労働組合に提案し、JR東労組は労使議論を行い、議事録確認をしました。また年末手当交渉は職場の声から要求をつくり上げ、2.2ヶ月で妥結しました。

他企業に目を向けると整理解雇もはじまっています。情勢を学び、JR東労組の必要性を多くの仲間へ訴えていきましょう！

●近畿日本ツーリスト

全従業員の3分の1にあたる約7千人を2024年度末までに削減する。新規採用抑制・定年退職など自然減や出向の他、35歳以上の希望退職を来年1月4日から22日に募る。固定費削減のためにウェブ販売や営業所の縮小、テレワーク推進による事務所賃借面積の縮小やパンフレットコスト圧縮により、2022年度には約200億円の経費削減効果の見込み。



●三菱自動車

今春労使合意した年末手当2.65ヶ月から2.05ヶ月とする減額案を会社が提示し、労働組合は提案を受け入れた。対象は国内の一般社員ら約1万3千人が対象。既に基本給10%減らしている管理職は対象外。今後国内の社員を対象に550人の希望退職の募集も実施し、固定費削減に取り組んでいく。



JR東労組は「雇用と生活を守るためのJR東労組緊急提言」を発出し、黒字経営に向けて全組合員に提起しています。緊急提言では、経営の危機＝雇用の危機であることを多くの仲間と共有しています。社友会では会社と団体交渉することは出来ません！JR東労組に再結集し、安全・健康・働きがいのある職場をつくり出しましょう！

